

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,729人
世帯数
3,199世帯
令和2年6月現在

五常コミュニティ総会 中止

自主防災会総会と併せ 初のテレ承認

今年度の、五常校区コミュニティ協議会総会／自主防災会総会は、多くのイベント同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止になりました。

議決権を有する各組織の代表者の方々へは、総会議案(活動計画案、予算案等)をお届けし、郵送にて承認を頂きました。もちろん、コミュニティ始まって以来の試みです。

現在、ほとんどの自治会では、1年任期の輪番制が敷かれています。したがって、この総会が代表者の方々と、コミュニティ役員との最初の顔合せの場でもありますが、会場確保、三密回避ともに難しく、書面でのやりとりという形式を取らせて頂いた次第です。

市内の小中学校では、授業が再開され、商業施設の営業自粛も、全面的に解除されつつあります。

今年の夏祭りは世情に鑑み、誠に遺憾ながら中止としましたが、

- ・ **五常文化祭**(10月25日)
 - ・ **とんど祭り**(1月10日)
 - ・ **防災フェスティバル**(2月28日)
- 等々、秋以降の恒例イベントについては、可能な限り開催したいと考えております。

近隣の方々との、又とない交流の機会ですので、昨年までと同様、ご協力、ご参加下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。



【2020年度 予算】

収入科目	予算金額
前年度繰越金	16,664
枚方市校区コミュニティ補助金	1,180,900
日赤奉仕団活動助成費(*)	0
コミュニティ活動費	500,000
安全部門活動費	300,000
枚方市防犯協議会補助金	16,000
事業収入	1,000,000
雑収入	5,000
合計	3,018,564

支出科目	予算金額
広報費	300,000
事務費、研修費他	215,000
安全部門活動費	100,000
備品費、修繕費他	150,000
事業費(とんど祭り等)	1,415,000
自主防災活動	300,000
小地域ネットワーク活動	500,000
特別積立金、予備費他	38,564
合計	3,018,564

(*) 前年度より自主防災会へ移行

【中止】
五常夏祭り

また、来年...

2020年度 五常コミュニティ協議会役員	
会長	上野 精順
副会長	光岡 和彦 (行事担当)
副会長	倉 洋子 (青少年部会)
副会長	宮路 美佐 (福祉部会)
事務局長	岡田 満
書記	河上 勲
書記	磯部 智子
書記	窪田 哲也
幹事	関谷 剛 福井 実
幹事	尾上 敏幸 平尾 守
顧問	大槻 哲也 元市議会議長
顧問	野村 生代 市議会議長
顧問	林元 隆司 五常小学校校長
相談役	野々村 亘

校区だより

五常小学校の様子

五常小学校教頭 大寄 歩



いつも地域の皆様に支えていただき、心より感謝申し上げます。今年度は64名の一年生を迎え、全校児童479名でスタートしました。今年度は一年生と五年生が2クラスとなりましたが、子どもたちは、新しい友達との出会いをいつも楽しみにしています。



2020 入学式風景

四月六日には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常より規模を縮小して、第59回入学式を挙行しました。参加者全員のマスク着用、来賓・在校生の参加なし、保護者席・児童席の十分な

座席間隔の確保等、いつもとは違う雰囲気の中でしたが、一年生は一生懸命、校長先生の話聞いていました。一年生も含め全児童が、学校生活を思う存分楽しめる日が来ることを、教職員一同、切に願っています。

緊急事態宣言が解除され、約三週間が経ちます。学校は、六月十五日から通常どおりの授業が開始される予定です。新しい生活様式での学校生活を円滑に行えるよう、休校期間中は職員一同、できることは何か、話し合いを進めてきました。

地域の皆様には、いつも子どもたちを温かく見守ってください、ありがとうございます。学校でも保護者・児童に注意喚起を行っています。声をかけてくださったり、直接注意をしてくださったりすることを聞くと、子どもたちが地域に守られているのだと感じます。

子どもたちだけでなく、行事等での放送音など、ご迷惑をおかけしていることと存じますが、今年度も引き続き五常小学校へのご理解・ご協力をよろしく願います。

五常校区コミュニティ協議会

専門部会の紹介

民生委員・児童委員

校区委員長 宮路 美佐

「民生委員」は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っており、創設から今年で百年の歴史を持つ制度です。また、全ての民生委員は児童福祉法によって「児童委員」も兼ねており、妊娠中の心配ことや子育ての不安に関する様々な相談や支援を行っています。また、一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けています。

核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障害のある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつ

ながくパイプ役を務めます。また、専門機関とのケア会議の開催や情報交換を行い、問題の解決に協力します。



民生委員・児童委員の活動は個人の私生活に深く立ち入ることもあるため、活動上知り得た情報について守秘義務が課せられています。この守秘義務は、委員退任後も引き続き課されますので、安心してご相談ください。

五常校区では、現在9名の民生委員・児童委員と1名の主任児童委員がそれぞれの担当地区で地域住民の皆さんと同じ立場で相談にのり、問題が解決できるように活動をしています。

「ごじよトープ」今昔



梅雨入り前の恒例行事として親しまれている、ホタル観賞会。

今年はコロナ禍のため、残念ながら中止になってしまいました。ホタルたちは元気に羽化し、夜になるとごじよトープの中を、ところ狭しと飛び回っています。

小学校の中庭に、田園の川辺を模して作られた「ごじよトープ」。そもそもいつ、どのようにして誕生したか、「ごじよトープ」ですか？

時は2006(平成18)年にさかのぼります。

大阪みどりのトラスト協会からの助成金に加え、PTA主催の五常フェスタにおけるバザーの収益金。これらを基に、「ごじよトープ



まさに、ゼロからのスタート
(14年前の姿です)

の建設は始まりました。

ちなみに、「ごじよトープ」とは、五常+ビオトープ、子どもたちのアイデアです。また、ビオトープ(生物)+トープ(場所)、元々はドイツ人学者の命名だそうです。



掘って、固めて、積んで

着工当初は、トラブルの連続でした。苦心^{きん}惨憺^{たん}ようやく掘り上げた池に、水漏れが発生。溜めども溜めども、翌朝にはカラッポになるなど、心折れる出来事が重なりましたが、作業を手伝ってくださる保護者や教職員の皆さん、

そして子どもたちの懸命な姿に励まされ、ようやくその年の秋、完成を見たのでした。

その後も、草木を植え、さらに幼虫のエサになるカワニナの確保



子どもたちも、大奮闘

に努めたりと、環境づくりに力を注いだ結果、翌年の5月31日、ついに「ごじよトープ」初のホタルが飛んだのでした。

以来、春先にはかならず、飼育・理科委員会の子どもたちが、幼虫とカワニナを放流。ホタルの光が絶えた年はありません。

ここで見られるホタルは、体長、光量とも国内では最大級のゲンジボタルです。

幼虫の間は水中、陸へ上がって蛹^{まなむし}になり、最後は成虫として空へと、水陸空を生活圏とする、ホタルの中では珍しい種類だとか。

現在、「五常小をホタルの郷に」



現在のごじよトープ
(旧香里団地から移植された木も)

実行委員会の方々が、毎週土曜日に、草木の手入れや水路・循環ポンプの点検など、維持・管理に努めておられます。

昆虫や草花に興味のある子どもたちや、「ごじよトープ」の運営に参加してみたいという方は、土曜日の午前中に、「ごじよトープ」を訪ねてみて下さい。



今年のホタル (6月5日撮影)

来年の今頃は、みんなでホタル観賞ができるといいですね。

リニール・オープン！ 香里ヶ丘図書館



建て替え工事のため長らく休館していた香里ヶ丘図書館が、いよいよ7月22日にオープンします。買物のついでにちよっと返却が出来なくてずいぶん不便でしたが、2年ぶりに、それも解消です。新しい図書館の2階には、様々な用途に使える多目的ルームが4室あり、インターネット予約も可能です。

ただし残念ながら防音設備はないそうなので、楽器の練習などはできません。

禁酒・禁煙のルールもあるので、



落成おめでとう！

お手軽な宴会会場というわけにも、いかないようです。

でも、ガツカリばかりじゃありません。日曜・祝日以外の利用時間が21時まで延長されました。不意の残業でも、すべり込みセーフ。これはうれしいですね。



中央公園直結のスロープ

同時開発されていた中央公園の旧バラ園部分も、すつきりとした庭園に生まれ変わり、図書館の屋上テラスと直結するスロープが設けられました。図書館の帰りに、ひと休みするには、とても便利です。

今のところ、まだ図書館内部へ入ることは出来ませんが、入口付近でインターネット予約に必要な、IDの申請を受付中。こちらは、非営利の団体活動限定です。いずれにせよ、残りひと月。楽しみに開館を待ちましょう。

コミュニティ協議会

からのお願い



一時は、薬局や量販店の店頭から、完全に消え失せたマスクですが、最近ちよくちよく見かけることも増えて来ましたが、五常校区へは5月末に、いわゆるアベノマスクが届きました。ただ、依然として手に入りにくい状況は続いているようです。

そこで、今回から配付されたマスクなど、もしご家庭で、使う当てなく眠っているマスクがあれば、コミュニティ協議会へ、寄付していただけないでしょうか？

五常小学校をはじめ、地域で活用させていただきます。

五常小正門・監視BOX前の、回収箱(平日8時30分～12時30分)へ投入いただくか、担当地域の民生委員、もしくは近隣在住の五常小在籍児童にお預けください。

勝手ながら、未使用の市販品に限らせていただきます。

(手作りマスクは、使用者によってはアレルギー反応を引き起こす恐れがあるため)

どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

見守り活動・再開



長期にわたる休校、地域別の分散登校・短縮授業期間を経て、五常小学校では6月15日より、通常授業が再開されます。

この間の遅れを取り戻すため、今年度の夏季／冬季休暇は、土日を含め11日ずつと、大幅に短縮されるようです。

授業再開とともに、「五常つ子見守り隊」の皆さんによる見守り活動も再開されますが、長期休暇の短縮により、各隊員の負荷が、今まで以上に増えることが懸念されています。

子どもたちを不測の事故や事件から守るという趣旨に賛同し、お力添え頂ける方がございましたら、各自治会長様を通じ、コミュニティ協議会まで、ぜひご連絡下さいますよう、お願い致します。

編集後記

ホタルの光を追って、暗がりの中を進む内、足を踏み外して池に落ちてしまいました。ごじよトープの水は、決して甘くありませんでした。

(広報委員会)